

カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2011. 7- 2)

香川県水産試験場 藤原 宗弘

TEL: 087-843-6511

調査方法

調査日: 7月15日 9:20~12:00 大潮

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2定点

【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	13点平均値
2009.7.18	0	0	268	3	0	3	10	0	0	0	0	0	0	6	25.8	20.7
2010.7.16	1	2	44	23	0	15	40	0	0	0	1	0	0	4	11.5	9.3
2011.7.15	2	40	92	54	16	2	11	1	0	0	13	0	0	-	21.0	17.8

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

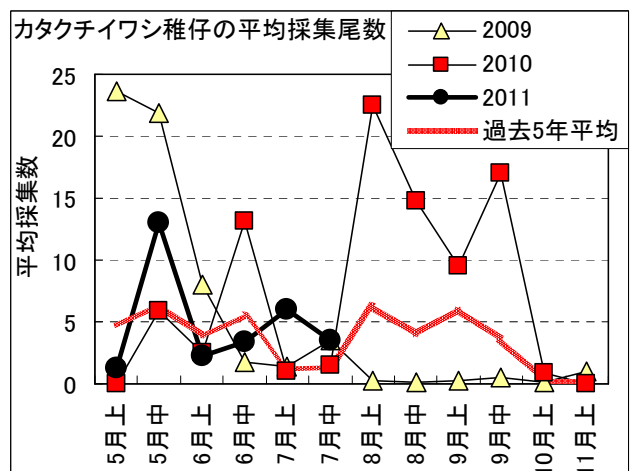
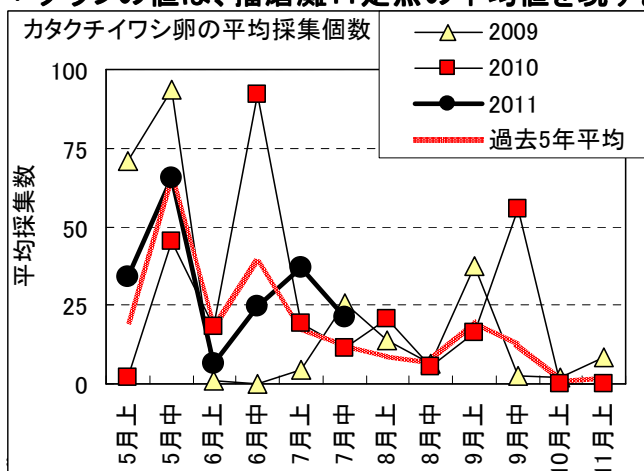
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	13点平均値
2009.7.18	0	0	4	8	5	8	13	1	0	0	0	0	1	2	3.5	3.0
2010.7.16	0	0	1	5	2	2	4	0	0	0	2	0	0	0	1.5	1.1
2011.7.15	0	4	7	9	3	3	3	6	1	0	3	0	0	-	3.5	3.0

* 表中の「-」は未測定を表す。

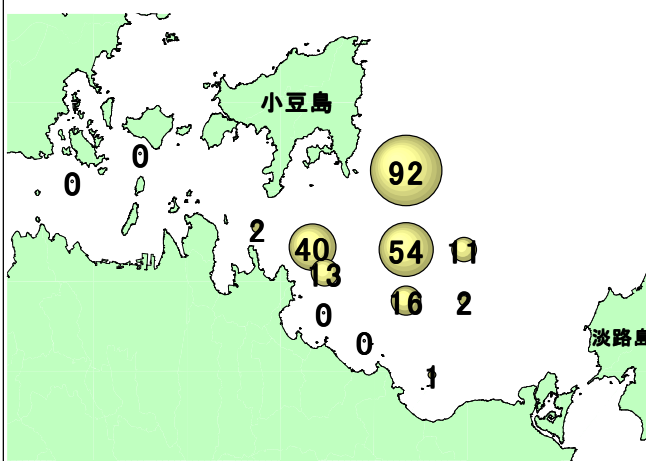
* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸を除く)。

* 13点平均値: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2定点の平均値を表す。

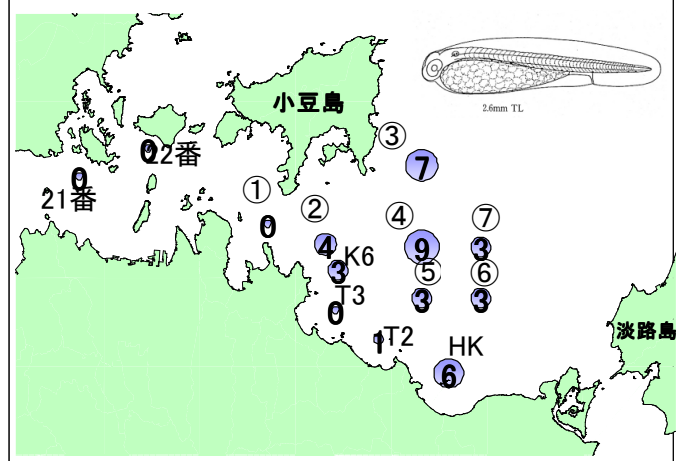
* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を現す。



カタクチイワシ卵



カタクチイワシ稚仔



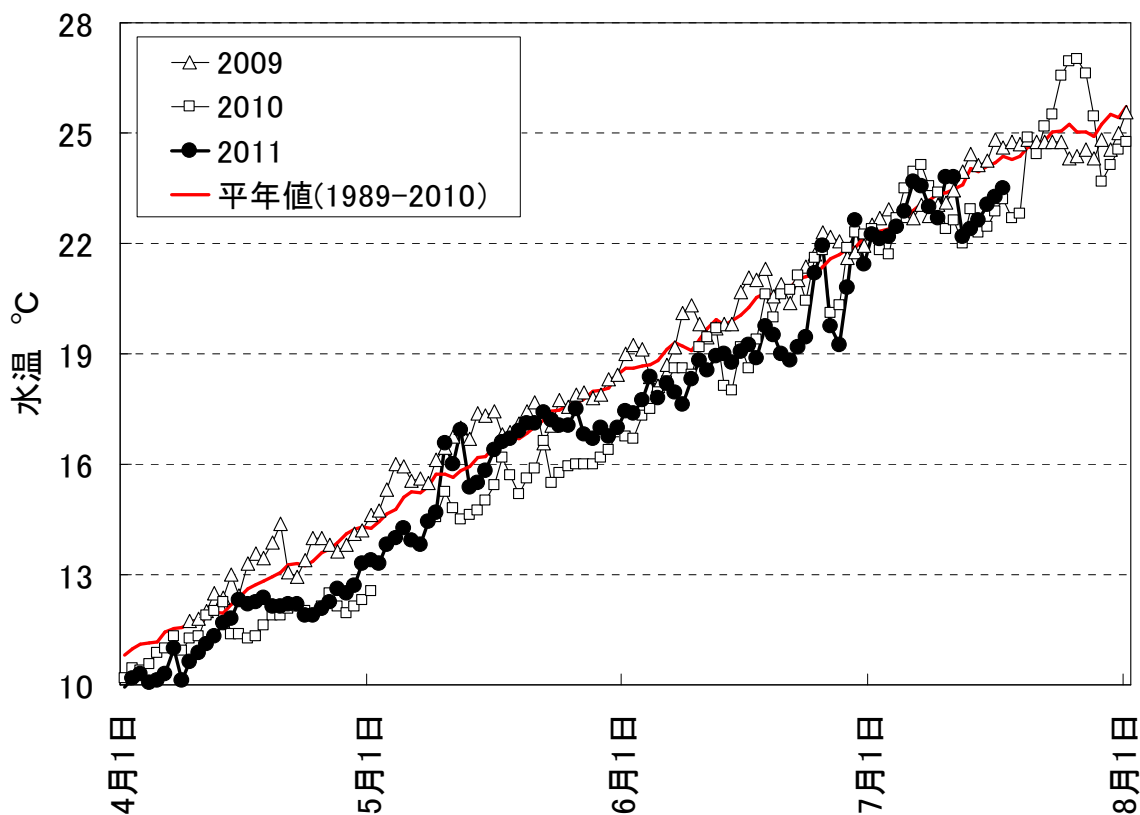
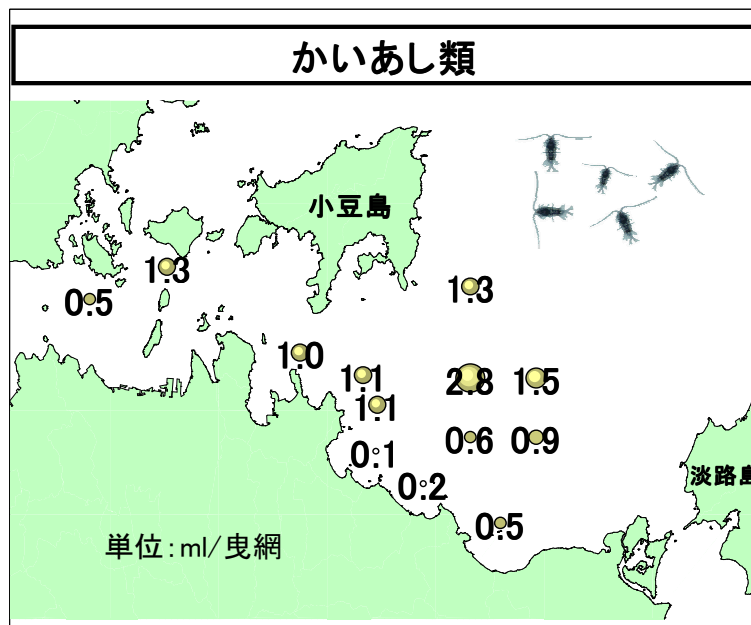
播磨灘11定点における卵の平均出現数は約21個となり、昨年同時期を上まわった。総じて沖合いの定点(②、③、④)での出現が多かった。

一方、稚仔の出現は約3尾となり、昨年同時期を上まわった。稚仔の出現は、継続して沿岸域で少なく、沖合でやや多い傾向がみられた。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、水温は、7月に入ってから平年・昨年度と同程度で推移していたが、12日以降、21年度と同様に平年値をやや下回る値で推移をしている。

餌料生物として重要なかいあし類は、平均的に少なく、11点の平均は前回の1.7倍程度に増加した。近隣府県の漁模様もあいかわらず良くなく、今のところかなり低調に推移している。

【参考】



※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。
<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>